

第5次福島県長期総合教育計画 ～新世紀ふくしまの学び・2010～ 見直しの概要（改訂版）

1 「第5次福島県長期総合教育計画」見直しの趣旨

第5次福島県長期総合教育計画「新世紀ふくしまの学び・2010」は、福島県新長期総合計画「うつくしま21」の部門計画として「人・地域・自然と共に個を磨く新世紀ふくしまの教育」の実現を目指し、平成13年度から22年度を計画期間とする10か年計画として、平成13年3月に策定されました。

「新世紀ふくしまの学び・2010」策定後、県教育委員会は、基本目標の実現に向けて様々な施策に取り組んできました。また、この計画の具体的行動計画として、「うつくしま教育改革推進プログラム」を策定して、県教育委員会が果たす約束を掲げ、各年度ごとに重点施策・事業を明確にし、教育改革を推進してまいりました。

しかし、この間、少子高齢化の急速な進行、国際化・グローバル化の一層の進展、子どもたちをとりまく環境の変化など社会状況がますます変化してきており、これらに速やかに対応することが必要になってきています。

そこで、この計画が平成17年度に中間年度を迎えるのを受け、これまでの施策等の実施状況及び効果を把握するとともに、平成18年度から平成22年度の計画期間後半において、より効果的な施策・事業を展開するため、見直しを行うこととしました。

2 見直しに当たっての基本的な考え方

見直しに当たっての基本的な考え方は、次のとおりとします。

- (1) 地方分権の動きが本格的な実行段階を迎え、教育の分野においても本県独自の視点からの教育改革が求められています。このため、家庭・地域・学校がそれぞれの役割分担のもとに連携協力し、県民総参加による新しい時代にあった教育を実現することが必要になっています。
- (2) 地球規模での人・もの・情報・資本等の交流がさらに進展しています。今後、大交流時代において、それを担う人材の育成が求められています。このため、日本人としての自覚を持つとともに、国際社会の中で国際的な視野を持ち主体的に生きる人間を育成する取組みを推進することが必要となっています。
- (3) 社会構造などの変化にともない、社会全体に「自分さえよければいい」との風潮が強まり、子どもたちの規範意識が低下しているとの指摘がなされており、自立心、豊かな人間性や社会性を持った人材を育成するための施策を総合的に推進する必要があります。

また、生涯にわたって生きる力として、知識や技能に加えて学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を身につけ自己実現を図ることができるよう支援する必要があります。
- (4) 文化・スポーツへの関心がこれまで以上に高まっており、本県の優れた文化を全国へ発信するとともに生涯スポーツの振興、スポーツの環境整備と選手の育成を図る取組みを推進する必要があります。

3 見直しの内容

(1) 本県独自の教育施策の展開

教育改革推進プログラムの策定

この計画の具体的行動計画として、「うつくしま教育改革推進プログラム」を策定して、県教育委員会が果たす約束を掲げるとともに、各年度ごとの重点施策・事業を明確にします。

小・中学校における30人程度学級の充実

生活面、学習面など学校生活全般において、きめ細かな指導と児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育を展開するため、小学校、中学校全学年において導入した30人程度学級を実効あるものとしします。

中高一貫教育の推進

6年間を見通した計画的・継続的な学習や幅広い年齢集団の中での活動により、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、社会性や豊かな人間性を育む中高一貫教育は、平成17年度から連携型で始まり、併設型についても検討を重ね、整備を推進します。

(2) 参加と連携による取組み

学校外部評価事業

自己評価システムをより効果的に機能させ、各学校における特色ある学校づくりや教育内容の質的充実につなげるため、評価活動の取組み状況を含めた学校経営の状況等を外部からの視点で評価する学校外部評価事業を推進します。

高大連携

生徒の視野を広げ、学習の選択幅を拡大するとともに、自ら学ぶ意欲の向上をめざし、英語やスポーツ、福祉、情報など多様な分野において高校と大学との連携を積極的に支援します。

教育に対する理解の啓発

「ふくしま教育の日」及び「ふくしま教育週間」の普及啓発等により、県民の教育に対する理解を深め、家庭、地域及び学校が一体となって教育に取り組む環境づくりに努めます。

外部専門機関との連携

高いレベルでの教育活動を推進するため、専門的な技術やノウハウを有する外部専門機関との連携に努めます。

(3) 世界で活躍できる人材の育成

国際人育成を目指した人材育成

様々な機関との連携を軸にした中高一貫教育を実施し、論理的思考力、豊かな人間性・社会性を育む総合的な教育により、国際的視野に立って社会をリードす

る人材を育成します。

英語が使える人材の育成

児童生徒が生きた言語を学ぶ機会を豊富に提供し、実践的コミュニケーション能力を高めるため、外国語指導助手(A L T)の招致人数の拡大を図るとともに、多様な英語の学習機会を提供し、英語が使える人材の育成を図ります。

(4) 個に応じたきめ細かな指導

「確かな学力」の育成

本県の子どもが知識や技能に加えて学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を身に付け自己実現を図ることができるよう支援します。

小・中学校における30人程度学級の充実(再掲)

障がいのある児童生徒に対する教育の充実

障がいの重度・重複化、多様化や社会の変化等を踏まえ、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育の充実を図り、保健・医療・福祉・労働機関等との連携を推進して子どもたちの自立、社会参加を支援します。

中高一貫教育の推進(再掲)

教職員評価システムの導入

一人ひとりの教職員が学校目標の実現を目指した自己の目標を達成する中で、自らの資質を向上させるとともに、その意欲や努力が適正に評価され、総体として学校組織が活性化する教職員評価システムを導入します。

(5) 豊かな人間性や社会性の育成

ふくしま子ども憲章

子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための宣言を制定し、児童生徒・保護者はもとより広く県民に普及啓発し、子どもたちの規範意識の向上や「豊かな心」の育成に努めます。

キャリア教育の推進

児童生徒一人ひとりが、夢や目的を探し求め、生き方を考えるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択・決定していくことができる能力や態度を育てます。

家庭教育への支援

子育て中の保護者に対して家庭の教育力の向上をめざし、子どもの発達や家庭教育におけるさまざまな課題に応じた学習の機会を提供し、家庭教育の充実に向けて支援します。

幼児教育の充実

「幼児教育振興ビジョン」の活用普及を通して、新しい幼児教育についての県民の理解を深めます。また、保護者等の多様なニーズに対応するとともに、家庭・

地域社会・幼稚園等施設が連携することにより、発達や学びの連続性を確保し、幼児の望ましい心身の発達を図ります。

体力向上への取組みの強化

体力テストや意識調査などの結果を踏まえ、自らの体力に関心を持たせ、積極的に運動に取り組む時間や場を設定します。

自尊感情を大切にした性教育の充実

児童生徒が異性を尊重する態度を養うとともに、性や性感染症・エイズに関する正しい知識を身に付けて適切に行動できるよう指導者の資質向上や効果的な指導資料・教材の作成に努めます。

学校における道德教育の充実

人間としての在り方や生き方についての自覚を深め、人間尊重、生命尊重の精神を培うとともに、規範意識や遵法意識、正義感や倫理観、思いやりの心、さらには、感動する心など、児童生徒の望ましい道德性を育むため、道德の時間をはじめとして各教科、特別活動及び総合的な学習の時間、学校の教育活動全体を通じて道德教育の充実に努めます。

(6) 本県の優れた文化の全国への発信

高校生の文化活動の活性化

県高等学校総合文化祭の開催、全国高等学校総合文化祭への参加を促進し、高校生の文化活動の活性化を図ります。また、全国高等学校総合文化祭の本県開催誘致に向け、活動の充実、強化に努めます。

全国規模の文化イベントの開催

本県の優れた合唱活動の更なる発展を図り、本県合唱を全国に発信するため、声楽アンサンブルコンテストの全国大会を開催するとともに、全国高等学校総合文化祭の本県開催に向けた誘致活動に取り組めます。また、本県の優れた文化活動を全国に発信するとともに、新たに文化活動に取り組む契機となる全国規模の文化イベントの本県開催について検討を進めます。

(7) スポーツの環境整備と選手の育成

総合型地域スポーツクラブの育成促進

市町村生涯スポーツ担当者等で組織する地区別連絡協議会を充実するとともに、地域住民に対する啓発活動を促進し、だれもが生涯の各時期にわたりスポーツに親しむことができる住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成に努めます。

国際大会・全国大会の誘致開催

各種競技の大規模な大会を開催し、スポーツを見る機会の充実に努め、県民のスポーツへの関心を高めるとともに、競技人口の拡大に努めます。

第5次福島県長期総合教育計画の「点検・見直し」の概要

社会状況の変化

「見直し」のポイント

「見直し」の主な内容

加速する地方分権の動き

本県独自の教育施策の展開
参加と連携による取組み

国際化・グローバル化の更なる進展

世界で活躍できる人材の育成

子どもをとりまく環境の変化

個に応じたきめ細かな指導
豊かな人間性・社会性の育成

スポーツ・文化への関心の高まり

本県の優れた文化の全国への発信
スポーツの環境整備と選手の育成

教育改革推進プログラムの策定
小・中学校における30人程度学級の充実
中高一貫教育の推進
教育に対する理解の啓発
外部専門機関との連携
高大連携
国際人育成を目指した人材育成
英語が使える人材の育成
「確かな学力」の育成
障がいのある児童生徒に対する教育の充実
ふくしま子ども憲章
キャリア教育の推進
家庭教育への支援
幼児教育の充実
体力向上への取組みの強化
自尊感情を大切にされた性教育の充実
学校における道徳教育の充実
教職員評価システムの導入
学校外部評価事業
高校生の文化活動の活性化
全国規模の文化イベントの開催
総合型地域スポーツクラブの育成
国際大会 全国大会の誘致 開催